

令和 6 年

第 2 回 教育委員会 臨時会

# 議 事 録

佐 渡 市 教 育 委 員 会

令和6年 第2回 定例・ <b>臨時</b> 委員会 議事録		
委 員 会 日 程		会 場
開会日時	令和6年2月14日 午前 <b>後</b> 2時00分	佐渡島開発総合センター 2階 第3会議室
閉会日時	令和6年2月14日 午前 <b>後</b> 3時20分	
延会日時	令和 年 月 日 午前・後 時 分	
出 席 者	欠 席 委 員	会 議 録 署 名 委 員
教育長 香遠 正浩		瀧川 紀子
1番委員 池 典比古		岩崎 奈美
2番委員 瀧川 紀子		
3番委員 岩崎 奈美		
4番委員 後藤 まき子		
議 案 説 明 の た め 出 席 し た 職 員		
教育次長	鈴木健一郎	学校教育課
教育次長 兼教育総務課長	磯部 伸浩	課長 柳澤 正二
教育次長補佐 兼社会教育課長	市橋 秀紀	
教育総務課		
課長補佐	中田 薫	
総務係主任	小林 唯美	
傍 聴 人	<b>有</b> ・無	
報告の 要旨	「議事の概要」のとおり	

会議で行った選挙の結果		
なし		
会議に付議した事件の題目		
議案第3号	佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について	
協議事項	令和6年度教育行政方針について	
報告事項	その他	
次回会議開催日		
採決の結果及び可否の数を計算したときは、その数		
なし		
請願、陳情	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	有の場合、別紙のとおり
その他必要と認めた事項		
特になし		

【議事の概要】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> <li>・委員全員</li> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<p>◎本臨時教育委員会は、午後2時00分から開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ今から令和6年第2回佐渡市教育委員会臨時会を開催いたします。</li> <li>・初めに、日程第1、「議事録署名委員の指名について」ですが、本日の署名委員は佐渡市教育委員会会議規則第18条の規定により、瀧川委員と岩崎委員の2名を指名いたしますので、よろしくお願いたします。</li> <li>・次に、日程第2、議案第3号については、人事及び個人情報に関する内容など非公開情報が含まれていることから、佐渡市教育委員会会議規則第7条の規定により、秘密会といたしたいので、これに賛成の方は挙手をお願いします。</li> <li>・挙手</li> <li>・全会一致でありますので、議案第3号を秘密会とすることといたします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<p>【秘密会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議案第3号「佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について」、磯部教育総務課長より説明する。</li> </ul> <p>【以上の議案については、質疑を経て原案どおり承認された。】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> <li>・磯部教育総務課長</li> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に、日程第3、協議事項、「令和6年度教育行政方針について」、事務局の説明を求めます。</li> <li>・資料は、前回以降修正した箇所を赤字で示した教育行政方針と、修正箇所を一覧にまとめたものの2つを用意いたしました。両方をご覧になってご意見をいただければと思います。</li> <li>・委員各位からご意見をいただいた箇所をお示しいたします。</li> <li>・まず、4ページの2行目、「令和4年度全国体力・運動能力…」の年度について、令和5年度の集計の有無に関する委員からの問いに対し、5年度の集計も終了していることから令和4年度を令和5年度に変更いたします。文章全体の内容は同じであります。</li> <li>・次に、7ページの17行目です。「また、市民が佐渡を」となっておりますが、接続詞「また」が多用されているというご指摘があったことを受けて、「さらに、市民が佐渡を」に修正いたしました。</li> <li>・同じ行の「締結する」というところも、既に「締結している」ということからそのように文言を修正いたしました。</li> <li>・19行目からのジオパークに関する箇所ですが、同じ内容が繰り返し使われている点のご指摘をいただき、1文であったのを2つの文章に区切ることですっきりしたものになったかと思えます。</li> <li>・最後に、10ページ10行目ですが、「自然や歴史・文化に触れ」という箇所を産業的な要素を入れてはどうかというご提案をいただき、「歴史、文化や人々の暮らし」という表記に修正いたしました。</li> <li>・その他、執行部の調整会議の際に気づいた点を修正いたしました。全て令和6年度教育行政方針__修正箇所に載せてあります。</li> <li>・それでは、本日が完成前の最後の検討の機会となりますので、区切りな</li> </ul>

	<p>がら進めていきますが、改めてお気づきの点等、忌憚のないご意見を聞かせていただければと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 ページ、2 ページの「はじめに」について、再度見ていただいてお気づきの点がありましたら遠慮なく聞かせてください。「はじめに」のところはよろしいでしょうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員全員</li> <li>・ 香遠教育長</li> <li>・ 池委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発言なし</li> <li>・ では、3 ページから4 ページの基本目標1、「学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進」のところでご意見をお願いします。</li> <li>・ これを読ませてもらったときに、まとまっていて、非常によくできた内容だと思います。</li> <li>・ 学習についても、主体的、対話的で、個に応じたもの、個別最適な学びと、共同的な学びというこの双方があって、これが全てだと思いますが、うまく入っていますし、それに対する取組の姿勢として、この前の教育総合会議でもありましたが、指導主事が増えそうな話の内容もありましたし、支援員も拡充されていくという内容もあり、それも全て入っているので、良いと思います。ぜひ効果が出てくれることを願っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今ほどお話があった支援員、スクール・サポート・スタッフについて、次年度は市内の全小中学校に1人ずつ配置できる見通しですが、予算はあっても十分な人材が確保できるかどうかという問題があります。何かいい方法がありましたらご提案願います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 池委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これは募集をかけているのですか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい。かけているのですが。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 池委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それが出てこないということですね。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの介助員の募集の例で、募集はするのですが。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 池委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出てこない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鈴木教育次長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勤務条件も、県のほうで決めているのですが、1日3時間までで、週5日までという条件の下やるので、見つかりにくいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 池委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条件も条件ですよ。もっと働きたい人はいるかもしれないですが。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩崎委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例えばですが、子育て中のお母さんとか、時間に制限されているという方でしたら結構、実際されている方もいらっしゃるし、私が知っている方だと中高生のお母さんだったりですが、それよりも、例えば保育園にいつている間とか、家事の合間とか、何かそういう方だったらできそうかなと思いますがどうでしょう。あとは退職されて、お仕事引退された方とか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳澤学校教育課長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩崎委員がおっしゃった方も中にはいらっしゃるのですが、公募すると学校で求めている要件に必ずしも合致しないことが多く見られます。やはり1日3時間で5日間という短い時間帯での勤務となると、フルで働きたいなと思っている方はなかなか手を挙げにくい環境かなと感じています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩崎委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私も人材が足りないという事情は知っていますが、結構学校の先生方も、</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳澤学校教育課長</li> <li>・ 瀧川委員</li> </ul>	<p>こういうお仕事をしたい方いないですかといった話もあつたりします。例えばそういう求人とか、公に出すのはできないのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハローワークを通して公募をかけてはいるのですが、なかなか見つかりません。条件に合う方の応募がまだ少ないのが現状です。</li> <li>・ 読み聞かせのボランティアと図書館の環境づくりボランティアをしていますが、比較的的空いた時間の1時間しか働けないということで、図書館の環境整備に関しては、皆さん物足りなく帰られている方も実際にいらっしゃいます。こういう話は我々に来ていないものですから、学校によってボランティア登録で活動されている内容が違うと思います。例えばアルコール消毒や共同学習、体験学習のフォローに来てもらうとか、ボランティア登録されている方に、こういうお仕事を、1日何時間ぐらいで週何回という形で具体的に話をすると、学校を知っている方が隙間時間で来られるのではないのでしょうか。全く別口から話をしていると、ボランティアさんはボランティアさんで別という形も結構多いと思います。意外と皆さんそういう働き方をされている方もいます。短時間で実際やっている方もいらっしゃるの、多分その人に声が届いていないと思います。必要あるところに、まずコーディネーターさんが校長先生や教頭先生と一緒に、具体的に声を上げていくといいかもしれないです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩崎委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私も話をいただいたことありますが、実際、人がいないです。いないというのもありますし、実際そういうお仕事がどのようなものか、分からない方が多いので、何かチラシ等でPRをすると、若い方もやってくれたりするかもしれないですし、結構知らない方が多いというのが現状だと思います。もう少しこういうお仕事ですよ、という説明があるといいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後藤委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1日3時間の週5日で、それ以外の仕事を併せてすることは可能ですか。別の職種、別の作業ですが、3時間以上働ける。保育園に預けるときに、お子さんを保育園に預けてしまえば時間は空くと思うのですが、保育園自体がお母さんとか家族が就労していて家庭で保育ができない状況にあるお子さんを預かるということになっていて、そうするとなかなか働きたいけど、3時間では預けられないし、もう少し時間が長ければやってみようかなという方ももしかしたらいるのかなと思いました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳澤学校教育課長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクール・サポート・スタッフの3時間以外の空き時間の仕事については、1日で7時間45分以内であれば、採用する課が違っていても届出をすれば可能です。例えば午前中3時間スクール・サポート・スタッフとして働き、午後別の課の仕事をするというような場合等です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ では、これまでの内容に、ハローワークだけではなく、他の方法を使い、しかも業務内容が伝わるような工夫もしながら全学校に配置できるようにしていきたいと思います。ありがとうございます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後藤委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校、それ以上の、中高でもいいですが、あと一番いいのは保育園で、保育園のお母さん方とか、そういった方は結構お仕事をしやすいと思うので、そういうところにも配布していただくといいと思います。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後藤委員にお聞きしたいのですが、私が勤務していた学校でコロナの消毒作業員を募集したことがありますが、全然応募がありませんでした。保護者の方にご協力いただけるかと期待していましたが、皆仕事をされていました。今ほど保育園の保護者であればと言われましたが、いかがでしょうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・後藤委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本、就労している方が預けられるのが保育園、家庭で過ごされている方、主婦をされている方は幼稚園に預けています。今、こども園もありますが、地域によってこども園のある地区と保育園、幼稚園のある地区とあると思いますし、そういうところの保護者で、お子さんを預けている方は皆さん働いています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ では、保育園にチラシを持っていってもあまり効果がないということになりますか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・後藤委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ でも、例えば知り合いの人にこういうのがあると、若いお母さんさんたちは結構ネットワークを持っていると思うので、こういうのが来たよと言って教えてもらうとかということではできるのかなという気がします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩崎委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私の経験上、子どもが小さい、小学校通うまでというのは、どうしても時間が限られて、例えば自営業の方とか旦那さんがお仕事をされていて、それで家のことをしなければならぬ、そういう方はどうしてもフルでは働けません。なので、本当に隙間の時間があるって、生活のためというよりは、ちょっと隙間だけで働きたい気分転換になったりとか、そういう方は多分しやすい仕事だとは思いますが。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考にさせていただきます。ありがとうございます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀧川委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私の周りは、障がい者関係とか発達とか子どものことで仕事を続けられなかったお母さん方が結構いらっしゃいます。支援学校に行くと子どもも成長してくると、子どもの自立を考えているお母さん方は今からフルタイムで働くには、もう 55 を過ぎてしまっているけれど、まだ気持ちも若いし、かといってパートで短く働くことはできるのですが、それよりも地域貢献に移行して今までお世話になった分、というお母さん方、実は多いです。例えば高校の制服採寸で電話すると、すぐいいよと言って集まってくるような方が結構いらっしゃるので、意外と支援学校とかもピラを配ると子どもから手は離れた前向きなお母さん方もいるのではないのでしょうか。それで、仕事内容がはっきりしていて、こういう時間利用してできるのかなと、違う目線からお母さんたちに声かけもいいと思いました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ありがとうございます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員全員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他に基本目標 1 についてご質問、ご意見ありますか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発言なし</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の 4、5 ページの基本目標 2、「郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進」ですが、いかがでしょうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀧川委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐渡での教育の軸として、明日の佐渡を創る人、世界と共に生きる人を育てるに当たって、この佐渡学を学ぶ、まず生まれた地域のことをよく理解して、その中で課題解決型の体験授業をするということの大切さ、また知っ</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> <li>・瀧川委員</li> <li>・香遠教育長</li> <li>・池委員</li> <li>・香遠教育長</li> <li>・市橋社会教育課長</li> <li>・池委員</li> <li>・市橋社会教育課長</li> <li>・池委員</li> </ul>	<p>ている土地で皆さんにお世話になりながら学ぶということの経験の積み重ね、本当に大切だと思います。それで、以前に話したことがあります、このキャリアパスポート、記入したノートを本人と学校だけではなくて、家庭でも、こういうこと習ってきていて、うちの子どもはこういうことに興味があるということ共有してもらいたい。一度島外の学校に出て、外の体験をして、また地域のことを大切に思ってもらいたいし、育ててもらいたいと願います。うまくまとめられていますので、ここでの意見は特にありません。とても大切なことで、いいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ありがとうございます。子どもの家族にも見てもらい、話題にしてもらえるようにするにはどうしたらいいかということについて、学校教育課の中でも今後また検討しませんか。ありがとうございます。</li> <li>・ よろしく願います。</li> <li>・ 他いかがでしょうか。</li> <li>・ 基本的には、先ほどの学習のところと同じで、非常によくできていると思っています。最初に言っておきたいのは、いろいろな面で佐渡市地域クラブ活動がこれからかなりのポイントになってくる部分かと思っています。鬼太鼓の運用も取り入れていくということになってはいますが、これについて、今どんな状況で進んでいるのか、実際にやった中で、役に立ったという声を聞くのですが、今どんなものを行っているかということと、それからこの先のことで、今のところ、休日のクラブ活動という形になっていますよね。この辺が、クラブ活動自体の地域への移行がいずれやってきますが、このときに、休日にクラブ活動について行って、平日はやらないとか、先のほうはどう考えておられるのか、お聞かせいただきたいと思っています。</li> <li>・ では、分けてお答えしてください。1つ目について市橋課長お願いします。</li> </ul> <p><b>【説明要旨】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鬼太鼓、民謡、人形芝居については、参加者が少ないのが現状です。しかし、女の子が鬼太鼓を申し込むなど、普段できない体験ができることが魅力だと思っています。また、教える側も、教えることを意気を感じているという点が佐渡の良い特徴を表していると思います。今後、回数が増えることで、参加者も増えてくるのではないかと思います。実際、9月のスタート時点から少しずつ増えてきているので、どんどん進めていくことが大切だと考えています。体験のお便りを確実に出すことにより周知につながると思うので、継続して出していく必要があると思っています。</li> <li>・ 人数はこれからでいいと思います。1人でも2人でもいいのですが、例えば鬼太鼓とか能があったような気がします、ありますよね。</li> <li>・ はい。</li> <li>・ 鬼太鼓はまだされていないでしょうか。民謡もあるのではないかと思います。他何かありますか。例えば太鼓とか何か。</li> </ul>
---	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市橋社会教育課長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それと人形芝居があります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・池委員</li> <li>・瀧川委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人形芝居ですか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先ほどの周知活動で、「佐渡市地域クラブ活動たより」を回覧板等を見て、最初、おじいちゃん、おばあちゃんは、何かなと思っていたみたいですが、大きいポスターが出ましたね。あれをスーパーで見たときに、これは何だと言われたので、周知活動的にああいう大きな、子どもたちの生き生きした楽しそうな顔が載っているポスターも、いいものだなと思って見ていました。まだ始まったばかりですが、どんどん膨らんでいくと思っていますが、いいものだと思って拝見しておりました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鈴木教育次長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2つ目にいきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現段階ではまずは休日ということで、平日については検討も始まっていません。自治体によっては平日も土日もしているところもありますが、佐渡はまず休日から段階的に行っています。ただ、平日はやってだめというわけではありません。学校によっては平日も何かできないかという要望もあるため、実証的に実施して検討していくことも考えております。また今回のアンケート結果によれば、休日は休みたかったからと回答した子どもは約 16%で、何となく参加しなかったが大体 40%となっています。魅力ある手法であれば参加者は徐々に増えていくと思えますし、その後に、平日はどうするか考えていけばいいのではないかと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ありがとうございます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員全員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他、基本目標 2 でご意見等ありますか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発言なし</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の基本目標 3、「安全・安心な学校づくり」でご意見、ご質問等いかがでしょうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀧川委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7ページの「スクールガードリーダーの配置をはじめ、地域ぐるみで子どもを見守る体制づくりを進めます」というところで、この間も別件で意見しましたが、地震後でしたので、やはり子どもの登下校の意識、家庭の中でもその話をしなければいけない、家族と集合場所、こういった場合はどうするといった具体的な声かけを学校とスクールガードリーダーと地域みんなで見守る体制づくりで進めてもらいたいと思います。今回地震があったところに知人とネットでつながっている関係で、聞いてみたら、こども 110 番の家を受けもってくれる地域がコロナ禍もあって少なくなってしまうと、声かけて増やしていると教えていただきました。あと登下校でも、ここはこども 110 番の家だと周知活動がされていないみたいなので、地域ぐるみで子どもを見守る体制づくりを、学校側で意識し、家庭でも意識してほしいと思いました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ このことについてコメントがある人いますか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こども 110 番の家は確かに毎年確認をして周知を図るべきことですが、現状等について説明をお願いします。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳澤学校教育課長</li> </ul>	<p><b>【説明要旨】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一時期は全学校で毎年こども 110 番の家をしていただいている家庭に確認を取りながら整備しておりました。現在、一部の学校でやれていないところがあると聞いておりますので、各学校に見回り等の安全体制が可能かどうかも含めて周知等徹底するようお願いしたいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 瀧川委員</li> <li>・ 香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よろしくお願ひします。</li> <li>・ ご指摘ありがとうございます。</li> <li>・ 他にいかがでしょうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩崎委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6 ページ 5 行目に、「臨床心理士による相談支援」と書いてありますが、これは佐渡にいらっしゃる臨床心理士ということですか。もし分かればどのぐらいの人数いらっしゃるのかお聞きしたいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳澤学校教育課長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所全体では確認しないと正確な人数をお答えすることができませんが、ここで言う臨床心理士は、各学校を回っている臨床心理士の資格を持つ会計年度任用職員 1 名のことを指しています。あと、県から派遣されているスクールカウンセラーの中にも臨床心理士の資格を持った方がいらっしゃいますので、その方々とも協力しながらになるかと思ひます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩崎委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「心の教室相談員、不登校訪問指導員の配置」とありますが、この方々と連携をしながらということによろしいでしょうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳澤学校教育課長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 状況に応じてお互い連携しながら対応するようになっています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩崎委員</li> <li>・ 香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ありがとうございます。</li> <li>・ 他、いかがでしょうか。ないようでしたら、次にいってよろしいでしょうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員全員</li> <li>・ 香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい。</li> <li>・ 基本目標 4、「高等教育・研究機関等との連携の強化」について、いかがでしょうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 瀧川委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7 ページ 15 行目の「大学連携による学習支援として、小・中学校へ大学関係者等を招聘したり、オンラインで交流したりする教育活動を広げます」、というところですが、普通に呼びかけてもなかなか生徒が集まらなかったりするところがあると思うのですが、佐渡は大学がない分、高校生卒業後の若者たちは、盆、正月しか会わないくらい特殊な地域だと改めて思ひます。自分は向こうで青春時代を過ごしてきたので、そう思っただけで帰ってくると、中学、高校の時に一番参考にしたい若者がいないということに気づきました。保育園児や小学生を育てているお母さんたちはどうしても目の前のことに一生懸命で、中学生や高校生の考えを将来の可能性に結びつけにくいと思ひます。ぜひ、小・中学生は、こういうオンラインに参加して、自分の少し先輩の人たちと考えを話し合う場が大切だということに気づいてもらいたいと思ひますので、学校を通じて保護者にも声をかけていただきたいです。中学生、高校生は、20 代の人たちと話すことに尻込みしてしまうのです。大人とは話せるのですが、20 代、30 代と話せない、尻込みしてしまう</li> </ul>

<p>・市橋社会教育課長</p> <p>・瀧川委員</p> <p>・香遠教育長</p> <p>・池委員</p>	<p>というところがありますので、こういう活動に期待します。保護者にこの場を与えることを、子ども任せにしないで、学校でも呼びかけて、佐渡はそういう特殊な地域だということをもっと知っていただきたいと思ったので、ここをピックアップしていただきたいと思います。小学校のときからこういう活動がありますよ、佐渡はこういうことを強化していますよと伝えていただきたい。</p> <p><b>【説明要旨】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国の事業で、土曜学習や未来塾という放課後や土曜日を利用した学習時間を提供していますが、それに携わってくれる人を、単に勉強を教えてくれる講師と想定していました。それが地域おこし協力隊の協力もあって、子どもたちをサポートしたいという、熱意のある佐渡出身の大学生が参加してくれました。畑野中学校が参加しており、大学生とタブレットを使って学んでいます。内容としては、勉強の時間が半分、大学の話や勉強の大切さなどの時間が半分となっています。学習力向上が目的でしたが、それと共に勉強以外の大切なものを得ているのではないかと思います。</li> <li>・ また、学校教育課が進めている新潟大学とのオンライン授業ですが、来年度は社会教育課も参加して、参加できる子どもたちを増やしていければと思います。やはり、年代の近い人と意見交換することは大事なことだと思います。</li> <li>・ もう一つ、島根県の益田市の語り場を参考に、佐渡で就職した若い人と現役高校生の交流の場を提供することを考えています。佐渡で生活すること、佐渡で働くこと、その他諸々を、高校生だけでなく、小学生や中学生も参加して話し合う機会を作っていけたらと思います。</li> <li>・ お祭りとかがなくなってきた、子どもたちにとっては、大人と会う機会がないので、そういう機会を本当に作っていただきたいし、やってよかったことを伝える方法として、各学校のコーディネーターの研修などで、そういうことをやっていて、こういうものがありますという広め方もあっていいかなと思いました。ありがとうございます。</li> <li>・ ありがとうございます。次年度は、今年度以上に拡充して広めていく年にしたいと思っていますので、また委員の皆さん方からお知恵をお聞かせいただきたいと思っています。</li> <li>・ 基本目標4について、その他にありますか。</li> <li>・ オンラインで交流するというのがありますが、コロナでここ数年は本当に大変な状況でしたが、唯一よかったのは、オンラインが当たり前のよう活用できるようになったことだと思います。今まで佐渡の離島の中では、こういった形で周りのものを取り込むということが難しい状況でしたが、今は当たり前のようになれる状況になったということで、この基本目標4は、佐渡の子どもにとって有効な手段になるかと思っています。</li> <li>・ もう一点、大学連携ですが、新潟大が中心になってくると思っていて、他に連携という形で取り組んでいるところがありますか。今、優秀な地域お</li> </ul>
---	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> <li>・岩崎委員</li> </ul>	<p>こし協力員ですか、その方によっていろいろな大学の生徒が入ってきているということがあるので、それを広げていけば、またそれはそれで、いろいろな学生の考えが入るので、非常にいいと思います。地域おこし協力隊じゃもったいないという気もするのですが、教育関係で専属的に働くポジションがあるともっと活躍できるような気はしますし、フットワークがいいというところを考えると、もっと活躍できる人材ではないかと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貴重なご意見ありがとうございます。</li> <li>・ 受験勉強している中でもそうですけど、佐渡にいる高校生にとって、例えば東京の、難関大学を出ている先輩でもいいですが、そういう学生さんに憧れるのです。そういう方が実際に目の前でお話されたら、モチベーションも上がり、尊敬や憧れも持つと思いますので、そんな機会を増やしていただければと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市橋社会教育課長</li> </ul>	<p><b>【説明要旨】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般の大学生もいいのですが、私は佐渡で育った大学生にぜひ協力してほしいと思います。島外に出てから経験すること、感じることなど、伝えられることがたくさんあると思いますので、委員の皆様にも、お子さんたちやご近所で大学に行っている子にお声がけ願いたいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鈴木教育次長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の地球未来塾は最終回だったのですが、大学生たちは、自分が教えているにもかかわらず教えることができてよかった、ありがとうと子どもたち一人一人にメッセージ残してくれていて、参加した大学生にとってもメリットがあると感じております。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香遠教育長</li> <li>・ 委員全員</li> <li>・ 香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウィン・ウィンの関係ということですね。</li> <li>・ 基本目標4について他にご意見等ある方いらっしゃいますか。</li> <li>・ 発言なし</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香遠教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ では、次の基本目標5、「一人一人が学び続ける学習環境づくり」へ移ります。これは生涯学習関連です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 瀧川委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一人が学び続ける学習環境づくりの中に子どもキャンプがありますが、これは今年で2年目ですね。生きた経験、楽しい経験、しかも佐渡の中での、なかなか都会では味わえない経験というのを続けていくことはすごく意味があると思います。特に、防災食とかもよくネットで上がっていますが、自分で外で準備して作るという工程を学ぶというのはなかなかないです。私たちの頃は緑の少年団で体験をしました。テントを張って泊まって、キャンプファイヤーもやったという記憶があります。何がよかったかという、そういう経験も必要ですが、島の空気とか、そのときに見た夜の星の美しさとか、そういうものを覚えています。東京に出て、佐渡に帰ってきたときに何を思い出すかといったら、そういうことも思い出すので、この学べる環境作りは、続けてほしいと思います。ここをピックアップして意見述べましたが、継続して参加してもらいたいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市橋社会教育課長</li> </ul>	<p><b>【説明要旨】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちに、いろいろな体験や考える力をつけてもらうことを目指し</li> </ul>

	<p>てこのキャンプを実施しています。20代の職員にキャンプ計画をたてさせたところ、ドンデン山のロッジに泊まるという案が出てきて驚きました。聞くとキャンプの経験がありませんでした。以前、羽茂のカルトピアセンターで5泊6日のキャンプを実施した時、とても大変だったことを憶えています。コロナ禍でしばらくキャンプを実施していないことから、無理をしない程度のところから、職員も子どもたちと共に徐々にキャンプに慣れ親しんでいければと思います。このキャンプは今後も続けていきたいと思っています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩崎委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今ほどお話のあったカルトピアセンターのキャンプは、うちの子も参加させていただきました。すごくいい経験になったそうです。なかなか厳しかったみたいですが。それで、この前学校運営協議会に参加した時の話ですが、最近、子ども同士で遊びにいったりすることはどうなのかという時代になってきている話がありました。子どもたちだけで計画して遊ぶという機会も少ないようですので、こういうキャンプというのはすごく貴重な経験だと思います。ぜひ、やっていただきたいと思っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市橋社会教育課長</li> <li>・ 香遠教育長</li> <li>・ 後藤委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ありがとうございます。</li> <li>・ 他にいかがですか。</li> <li>・ 赤文字の箇所の「スポーツ・文化活動に対する支援として、市外での大会参加を支援する遠征費補助や全国大会等への参加者を奨励する激励金制度」というものがここ数年充実していて、島外遠征にいける回数も増えたと保護者から聞いています。また、県代表で全国大会にいらっしゃるお子さんは、保護者の方、負担金も多くて、県からの補助もありますが、引き続き佐渡市として補助いただけるとありがたいと思います。よろしくをお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市橋社会教育課長</li> </ul>	<p><b>【説明要旨】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 激励金については、今後も続けていきたいと思っています。嬉しいことに全国大会に出場する子どもたちは、ここ3年で増えています。それは、スポーツ協会の方々が子どもたちの育成をしっかりと担っているからだと思います。新しい種目の選手も全国大会に出場したりして、今後もスポーツに関する支援をしていくことの重要性を感じています。委員の皆様のご協力をよろしく願いいたします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 池委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私も新潟市にいて、こっちへ戻ってきて、佐渡のこの補助には驚いています。新潟だと大会に出すのにいろいろと負担があり、後援会なども考えますが、行政の佐渡市が出してくれるものがすごく高く、子どもたちにとっては非常にありがたいと感じていました。これはすごいと来たときからずっと思っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香遠教育長</li> <li>・ 委員全員</li> <li>・ 香遠教育長</li> <li>・ 池委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そう言っていただけるとありがたいです。</li> <li>・ 他にありますか。</li> <li>・ 発言なし</li> <li>・ それでは、基本目標6、家庭・地域の教育力の充実です。</li> <li>・ 内容は、書いてあるとおりでいいと思います。それで、地域未来塾、土</li> </ul>

	<p>曜学習をやるということで、これについて、一番問題なのは家庭との連携というか、ここの部分の肝になる取組がありませんが、何か考えていかなければならないと感じています。指導主事や支援員の増員の話も出ていましたが、周りの学習の能力アップを図ることはできますが、やはり家庭へ帰っての時間というのは非常に大事な時間だと思います。佐渡市の弱いところは、そこがかなり大きなポイントを占めているのは間違いないので、家庭との連携で、何らかのことを考えていかなければと思います。A Iドリルも非常にいいですが、これをどう活用していくか、その辺が難しいですが肝になってくるのかと感じますので、1年間また悩みながらぜひ何かいい案が出たらやっていただきたいと思います。案だけでなく、実際に動かないと結果は出ませんので、よろしくお願いします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香遠教育長</li> <li>・ 岩崎委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きな問題です。何か案がありましたらお願いします。</li> <li>・ 家庭との連携というのは、ふだん地域の連携で関わっているもので、難しい、ギャップがあるなとすごく感じています。学校と地域はうまく連携しているとは思いますが、地域の方が一生懸命になって子どもたちを楽しく喜ばせて、というのは学校で十分できてきているとは思いますが、果たして、子どもたちが家に帰ったとき、保護者にどうお話ししているかというのも気になることではあります。保護者が地域の方で学校に関わっている方たちのことをどれくらい理解しているか、というのも分かっていたらと、そこでうまくいくのかと感じています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鈴木教育次長</li> </ul>	<p><b>【説明要旨】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年度、鍵となるのが学校運営協議会だろうと思っております。学校が家庭に求めている役割、その逆に、家庭が学校に求めていることをそれぞれ見える化を図っていくため、CSポートフォリオを効果的に活用していけるよう考えております。更に外部の方に入ってもらうことで、協議会をより充実したものにするとも考えております。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市橋社会教育課長</li> </ul>	<p><b>【説明要旨】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校運営協議会について、学校と家庭のみでなく、簡単ではないでしょうが、地域も巻き込めると更に良くなるかと思っています。あと、放課後子ども教室について、地域、家庭も巻き込んで動いていける部分もありますので、そういうところからやるしかないと思いますし、また考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩崎委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私もつい昨日、学校運営協議会に参加してきましたが、保護者の枠で、PTA、小中学校のPTA会長さんは入っています。話を聞くと、PTA会長として運営協議会に参加して、初めてコミュニティースクールを知ったという方がほとんどで、それ以外の保護者の方は、経験しないというか、そういうことも知らないというのが現状で、そこをもう少し連携できるようになると家庭との理解が深まってよくなるのかなという感じはします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鈴木教育次長</li> </ul>	<p><b>【説明要旨】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐渡市のホームページには学校運営協議会に関する情報は載っておりま</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩崎委員</li> <li>・香遠教育長</li> <li>・瀧川委員</li> <li>・香遠教育長</li> <li>・後藤委員</li> </ul>	<p>せん。最近になってコミュニティークールだよりや、情報を載せ始めました。来年度は、学校運営協議会を分かりやすく説明したパンフレットを作成したく、予算計上させていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あと、そこに関わっている地域コーディネーターの方、いろいろ頑張っていると思います。学校の職員とは別で、地道に表に出ずに、裏方として結構外で動いてくれたりしていますが、そういう方々を保護者の方がまず知らない。先生のことは知っていても、コーディネーターさんとかCSディレクターさんは知らないですし、そういう方々を市報だとか、市報でなくてもいいですが、写真で紹介するとか、活動しているところを紹介していただくと少しは分かってもらえるのかなということでした。</li> <li>・ いただいたご意見を活かしていきたいと思います。</li> <li>・ 他いかがでしょう。</li> <li>・ 家庭学習、学習習慣の確立に向かって、この間市長との話にもありましたが、スポーツに関しては、親の経験とか横つながりも意識しながら、どんどん強化して、子どもたちもそれに応えようという形で強くなれるのですが、勉強に関しては、親は自分たちが今の生活を確保している時点で、勉強はもう昔のことだから全然分からない、教科書すら開かないし見ようもしない。だから、子どもたちはどんどん勉強から興味を外してしまっているのが現状だと思います。特に、塾やそういう競争社会の空気感ではなく、安心した環境で、親も興味がないし、というところがあると思います。うちは、教科書がどんどん面白くなっているなどと思い、終わった教科書をもう一年置ける場所をつくっています。今はQRコードで読み込むと、教科書を読まなくてもいろいろとストーリーを言ってくれたり、こんなのにつながっていくんだという発見もあります。教科書はすごい財産です。親が勉強に興味をもっている姿を見せないと、子どもは学習の扉を開いた世界が楽しいということに結びつかないと思います。スポーツが少子化になってもどんどん強くなるのに、勉強に関してはこんなに興味がないというのは、家庭の責任もあると思います。家庭学習の習慣を学校と家庭が連携して、子どもの勉強、というよりも親も何かを学び続ける姿勢が必要。社会教育課では高齢者の方はどんどん学びを続けられていますが、逆に働き盛りの世代というのは、勉強は終わったこと、という空気感を変えていく必要があります。そういったものを連携の中に、家庭学習強化のところに、勉強の楽しさを親子で分かち合っしてほしいと思います。教科書も変わり、昔のように読んで難しい字を辞書で調べる時代でもありません。すごくきれいなカラフルな教科書なんで、興味の意識を変えていくというのも一つの何か学習の扉が開くのではないかと思います。意識、モチベーションの違いですけど、スポーツがこれだけ強いことから、勉強も強くなれるのではないかと思います。</li> <li>・ そういう佐渡を実現しましょう。</li> <li>・ 私も学習時間の確保、学習習慣の確立というところで、先生方はお忙しいのは分かるのですが、昔みたいに宿題、課題という、子どもたちが目に見</li> </ul>
---	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・香遠教育長</li> <li>・委員全員</li> <li>・香遠教育長</li> <li>・委員全員</li> <li>・香遠教育長</li>   <li>・磯部教育総務課長</li> <li>・香遠教育長</li> <li>・委員全員</li> <li>・香遠教育長</li>   <li>・香遠教育長</li> </ul>	<p>えてやっていかなければならない学習を設定してあげることが必要と思います。低学年のうち、やり方が分からないという子もいると思います。小学2年生の孫に「宿題終わったの」と聞いたら、「宿題は終わったけど、先生はもう少し自分の苦手なところを学習、勉強しておいでって言ってくれたけど、何をすればいいか分からない。」とっていました。みんなに出した宿題が終わったら、できる人はもう少しこの辺やってみたらどうかという、自分で考えて取り組むのではなく、ある程度どういうものをやったらいいということを、3年生ぐらいまで言葉がけしていただけると、勉強というものは何をしたらいいか、身についていくのかなと感じました。低学年のうち、繰り返し教えてあげないと、なかなか身につかないと思います。自立は大事ですが、少し大人にしすぎているところがあるのかなと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一人に応じた支援をしてもらいたいという思い、受け止めました。</li> <li>・ 他いかがでしょう。</li> <li>・ 発言なし</li> <li>・ では、「おわりに」も含めて、全体を通して、何かありますか。</li> <li>・ 発言なし</li> <li>・ たくさんの貴重なご意見をいただきました。参考にさせていただきます。</li> <li>・ 原稿の上では修正は特になかったということで、この令和6年度教育政方針について、今月29日招集予定の市議会本会議で朗読することといたします。ありがとうございました。</li> <li>・ では次に、日程第4、報告事項、「その他」ですが、事務局から報告することはありますか。</li> <li>・ ありません。</li> <li>・ ないようですが、委員の皆さんから何かありますか。</li> <li>・ 発言なし</li> <li>・ なければ、日程第4、報告事項は終了いたします。</li> <li>・ 日程第5、「次回会議の開催日」について、事務局の説明を求めます。 【次回の会議は、2月19日（月）に定例会を開催したい旨を説明した。】</li> <li>・ 以上で令和6年第2回佐渡市教育委員会臨時会を閉会いたします。</li> </ul> <p style="text-align: right;">午後3時20分終了</p>
--	--